
京機会ニュース

No. 6 平成12年(2000年)3月20日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻
Tel. 075-753-5183, Fax. 075-771-7286, E-mail: keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp
<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>



桂キャンパス予定地のあたりの航空写真 (cf. p. 7に関連の記事)

《会告》	2頁	教官の異動	7頁
平成12年度京機会春季大会・総会のご案内	2	《会員のページ》	8
平成11年度京機会秋季大会の報告	3	九日会と京都の会への案内	8
会費の納入状況と銀行口座振替について	3	京機22年会	8
京機会名簿の発行	3	五十年会(S25)秋季例会の報告	8
関西支部からのお知らせ	3	五十年会(S25)「五十周年記念会」	8
関東支部の設立準備	4	悟美会(S28)卒業46周年総会の報告	8
京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業 醸金状況と同事業着手のご報告	5	昭和30年卒同窓会の報告	8
第二世紀記念事業の行事などのご案内	5	平成11年度泰山会(S31)の報告	9
記念誌の「百人一言集」への寄稿のお願い	5	昭和32年卒同窓会の報告	9
関西支部産学交流会のご案内	6	S45卒同期会のお知らせ	12
インターネット京機会ホームページのご案内	6	機河会(河本研究室同窓会)の報告	9
《教室から》	7	機河会 兼 河本先生米寿祝賀会の案内	9
桂キャンパスについて	7	胡朝生さん(S19)からのおたより	9
柴田俊忍教授退官記念講義	7	サガサガ会(伝熱工学研OB会)の報告	9
		《写真のページ》	11

平成12年度京機会春季大会・総会のご案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催いたします。今回も前年同様、お若い方にもご出席いただけるように企画しました。よろしくご出席下さいますようお願い申し上げます。

日時：平成12年4月21日(金) 12:15～20:00

会場：京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

工学研究科物理系校舎(時計台の東方、8階建ての新館)313講義室ほか

行事：

1. 学生と先輩との交流会 12:15～14:15
学生が企業でご活躍の先輩とお話しできる機会をもてるよう、この会を準備します。

2. 講演会 14:30～15:30
小林忠嗣氏(S47, (株)日本LCA会長, (株)ベンチャー・リンク社長)
「技術者にとっての起業および転職」

小林氏は、本学機械系工学教室卒業後、(株)島津製作所を経て、日本生産技術研究所(現日本LCA)入社、昭和60年に日本ベンチャー・リンクを設立した。日本LCAは平成10年より再就職支援事業に進出している。日本ベンチャー・リンクは新しいビジネスを創設するための経営状況を提供する情報サービス会社として成長している。

3. 講演会 15:45～16:35

熊本博光氏(S44, 京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻教授)

「ITSとその周辺の話」

熊本氏は、本学機械系工学教室卒業後、同教室の修士、博士、研究生、助手、助教授を経て、平成10年4月より現職。システム信頼性解析と安全性解析方法論を扱ってきたが、現在は高度道路システム(ITS: Intelligent Transport Systems)に関心を移しつつあり、後者を主にして研究室(ヒューマンシステム論)における話題を紹介する。

4. 総会 16:45～17:15

- (1) 平成11年度会計報告の件
- (2) 役員改選の件
- (3) 関東支部設立の件
- (4) 第二世紀記念事業の件
- (5) その他

5. 関西支部総会 17:15～17:45

(本ニュースp.4参照)

懇親会： 18:00～20:00

会場：京大会館 (東一条から西南に500m, Tel.075-751-8311)

会費：6,000円 (当日会場でお払い下さい)

○ ご出欠のご回答を、4月12日(水)までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

○ 評議員の方には、評議員会(11:00～12:00)についてもよろしくお願いいたします。

平成11年度京機会秋季大会の報告

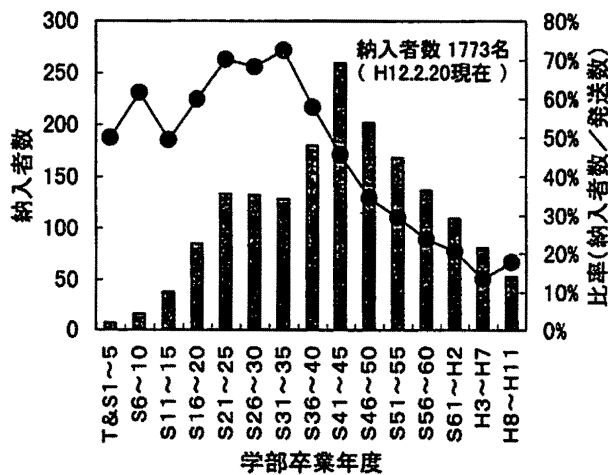
平成11年度京機会秋季大会は、松下電器産業(株)のお世話により、平成11年11月18日(木)、同社松心会館において開催された。同社からのご挨拶と同社概要説明があり、元同社副社長で高知工科大学教授の水野博之氏(S27京大理卒)の特別講演があった。氏は、レーガン大統領の規制緩和政策からIT(Information Technology)産業創成に至る米国産業繁栄の経緯についての分析を示し、日本産業が創造型のものに転化することが必要であると説かれた。その後、同社でご活躍の卒業生の若手お3方による情報・通信関係の最新技術の紹介、さらに、松下技術館の見学と続いた。懇親会は和やかな雰囲気の中で行われた。大会参加者162名、懇親会参加者113名、盛会であった。

松下電器産業(株)と佐藤尅朗(S42)、浦田嘉人(S43)両氏を初めとする同社の卒業生各位には、ご準備・当日のお世話などなどありがとうございました。記して感謝いたします。

<p.11 に この会の写真>

会費の納入状況と銀行口座振替について

平成11年度会計収支決算は京機会ニュース次号(No.7)にてご報告します。昨年度と同様、会費収入が支出を約200万円上回り、6月の名簿発行・送付に要する経費が賄える予定です。本年度は、下図のように合計1,733名(約36%)の会員から会費をご納入いただいています。3年毎に発行予定の名簿は会費納入年数に応じて割引価格にて頒布します。平成10~12年度分を納入いただく方には無料でお送りしますが、それ以外の方は購入希望をお申し出下さい。



また、関西支部設立に際して、関西在住の会員の内の会費納入者数約800に対応する約60万円の交付金を

お渡ししました。各種会合や資料印刷費、通信費などにお役立ていただいています。

来年度からは銀行預金口座振替が利用できます。毎年の振込送金の手間を省けますので、是非お手続き下さい。支部設立や名簿の発行を機に、会員相互の交流・親睦がますます盛んになることが望めます。そのためにも、引き続き会費納入をよろしくお願い申し上げます。

京機会名簿の発行

京機会名簿-卒業生輩出100周年記念号-を本年6月に発行予定しております。今回は一部にEメールアドレスも記載します。また、個人の名刺広告頁も設けます。広告代は名刺サイズに近いもので5,000円とさせていただきます。ご希望の方は4月28日(金)までに京機会事務局まで名刺を添えてご連絡下さい。名簿の購入(cf.前項)と名刺広告の掲載をよろしく申し上げます。

(京機会名簿担当幹事)

！ 同封のはがきのご返送を！

同封のはがきは、本年6月発行予定の名簿のデータとなるものです。春季大会・総会へのご出欠にかかわらず、ぜひ、ご返送下さい。

関西支部 からのお知らせ

1. 平成11年度活動報告

(1) 会議と新年会

5月21日 関西支部設立総会

7月30日 支部役員会

10月28日 支部役員会

1月7日 新年会(京機九日会と共催)

1月31日 運営会議

11年度活動総括と12年度活動計画の審議

(2) 交流会

登録会員数

異業種交流会

71名

産学交流会

材料工学懇話会

27名

熱流体工学懇話会

35名

設計・製造・機素・振動懇話会 47名

・異業種交流会、産学交流会とも登録会員の期間は1期2年です。新たに会員登録を希望される方は京機会事務局までご連絡下さい。

第1回異業種交流会

(とき) 平成11年12月3日(金)

(会場) ダイハツ工業(株)本社工場

(概要) 見学 軽自動車生産ライン
講演 軽自動車の開発と展望
電気自動車の開発
懇親会 参加者37名

第2回異業種交流会

(とき) 平成12年1月31日(月)

(会場) 大阪ガス(株)

(概要) 見学 未来型実験集合住宅 NEXT21
燃料電池実験場見学
講演 燃料電池への取組み
炭素材等の開発
懇親会 参加者39名
< p.11 に スナップショット >

第1回産学交流会

(とき) 平成11年11月27日(土)

(会場) 京都大学大学院工学研究科

材料工学懇話会 参加者 16名
高効率発電プラントにおける材料強度面の課題
佐近淑郎(三菱重工業(株))
高齢化発電設備の健康診断
大谷隆一(京都大学)

熱流体工学懇話会 参加者 14名
表面張力が関係する現象とそのマイクロマシンへの応用
吉田英生(京都大学)
空調用熱交換器の開発
加賀邦彦(三菱電機(株))

設計・製造・機素・振動懇話会 参加者 30名
社会・経済環境の変化と伝統機械技術の将来
久保愛三(京都大学)
電機メーカーにおける流体騒音
中島伸治(三菱電機(株))

第2回産学交流会(予定)

p.6に案内のとおり。

(3)有志懇親会

会員有志による懇親会として、「京機九日会午餐

会」を12月を除く偶数月の9日に大阪梅田で、また「京機京都の会」を1月を除く奇数月の第一土曜日に京都で各々開催した。

2. 平成12年度活動計画案

(1) 活動方針

支部設立初年度に発足した「異業種交流会」、「産学交流会」、「新年会」の活動を定着させるとともに更に活性化する。

(2) 個別活動計画

① 支部総会

4月21日(金)の京機会総会に合わせて開催する

議題: (a) 平成11年度活動報告

(b) 会計報告

(c) 平成12年度活動計画・予算

(d) 役員改選

(e) その他

② 異業種交流会

年4回程度の開催を企画する。5月に(株)島津製作所、9月に(株)クボタ、12月に三洋電機(株)2月に三菱重工業(株)で開催を予定。

③ 産学交流会

「材料工学」、「熱流体工学」、「設計・製造・機素・振動」の3懇話会を年4回程度開催する。会場は原則として京都大学。

④ 新年会

関西支部単独(京機九日会としての新年会は今年で最後とした)の新年会として開催する。

⑤ 有志懇親会

会員有志による懇親会として、「京機九日会午餐会」、「京機京都の会」を継続開催する。

関東支部の設立準備

京機会関東支部の設立準備が、小澤三敏京機会副会長(S33, 住友重機械工業(株)), 熊澤正博同幹事(S43, (株)日立製作所)らによって進められています。

本年4月21日の京機会総会にて発表される予定です。行事予定などは京機会ニュース次号や京機会ホームページに掲載いたします。

京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業
醸金状況と同事業着手のご報告

第二世紀記念事業会

本ニュースレターにおいてもご案内を差し上げておりますように、機械系工学教室では第二世紀記念事業を計画し、卒業生の皆様にそのための醸金をお願いしております。その進行状況について中間報告を申し上げますと、卒業生の皆様方からは、当初予定いたしました額の88%を越える金額を醸金賜り、厚く御礼申し上げます。なお、まだ醸金戴いていない会員諸兄におかれましても、ご一考賜れば幸いです。なお、醸金のお願い状には、実行委員会の一存で醸金戴く際のご参考までにと目安を記載させていただきましたが、この金額にこだわっていただく必要は全くありません。是非とも、当第二世紀事業と機械系工学教室に対するお気持ちをこめて、応援いただきたく合わせてお願い申し上げます。

なお、個人の奨学寄附金の取扱は2月末をもって終了させて戴いておりますので、ご了承願います。一方、企業募金のほうは、残念ながら不振を極めておりますが、こちらのほうもより一層の努力を重ねる所存でおります。

記念事業につきましては、本年7月14日(金)の記念式典の挙行と並んで、教室公開、記念碑の建立、記念誌の発刊等の準備を着実に進めております。また、第二世紀記念事業の柱としての、産業界と機械系工学関連教室の交流促進を目的とした、卒業生の皆様、機械系工学関連教室全教官の「京機会情報ネットワーク構築」にも取り組み始めたところでもあります。これにつきましても、追ってアンケートをお送りする予定でありますが、その折りは宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。



第二世紀事業のシンボルマーク

第二世紀記念事業の行事などのご案内

レセプション

日時：平成12年7月13日(木) 13:00～18:30
会場：京都大学機械系工学教室
内容：教室公開
記念碑の除幕
レセプションパーティー（懇親の軽食会）

記念式典

日時：平成12年7月14日(金) 13:30～20:30
会場：京都ホテル 4F 暁雲の間
内容：記念式典
記念講演 「産学連携教育をめぐって」
住友重機械工業(株)会長
小澤三敏 氏 (S33)
東京大学医学系研究科教授
井街 宏 氏 (S41)
核燃料サイクル開発機構東海本社広報部長
小中元秀 氏 (S46)
京都大学工学研究科教授
大谷隆一 氏 (S37)

記念祝宴

記念誌

次項「百人一言集」に原稿をお寄せ下さるようお願いいたします。

記念誌の「百人一言集」への寄稿のお願い

第二世紀記念事業会では、記念事業の一つとして、機械系工学教室百周年記念誌を刊行いたします。記念誌には、そのなかの1項目として、各年代の卒業生各位からの言葉を集めた「百人一言集」を掲載することを企画しております。

原稿の内容は、「教室の思い出」、「機械屋として来た道の回顧」、「機械工学・機械工業に思う」、「工学教育への提言」、「21世紀に向かっての課題・展望・姿勢」など、何でも結構です。また、原稿の長さは、A4判1頁程度(1,500字程度)を目安とします。多数の皆様方から、原稿をお寄せいただきますようお願いいたします。

なお、平成12年5月末日を一応の期限とさせていただきます。京機会事務局まで、e-mail あるいは手書き/ワープロ出力の郵送等でお寄せ下さい。

関西支部 産学交流会

材料工学懇話会

平成11年度 第2回会合

日時 平成12年4月8日(土) 13:30~17:00
会場 京都大学工学研究科物理系校舎216教室
産業用ガスタービンにおける材料問題について
川崎重工業(株) 武 浩司 (S54)
本年度の卒業研究及び修士論文の中から
材料関係の研究内容についてレビュー
京都大学 小寺秀俊 (S55)
懇親会 (熱流体工学懇話会と合同の会)

関西支部 産学交流会

熱流体工学懇話会

平成11年度 第2回会合

日時 平成12年4月8日(土) 13:30~17:00
会場 京都大学工学研究科物理系校舎212教室
コルゲートフィン型ヒートシンクの開発
住友金属工業(株) 田坂誠均 (S60)
水素エネルギー社会の実現に向けて
京都大学 塩路昌宏 (S50)
マイクロガスタービンについて
川崎重工業(株) 藤井龍雄 (S50)
懇親会 (材料工学懇話会と合同の会)

関西支部 産学交流会

設計・製造・機素・振動懇話会

平成11年度 第2回会合

日時 平成12年3月25日(土) 13:30~17:00
会場 京都大学工学研究科物理系校舎213教室
仮想と現実を繋ぐデザイン
京都大学 榎木哲夫 (S56)
摩擦減衰型免震装置の開発
川崎重工業(株) 西田 徹 (S59)
懇親会

<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>

インターネット 京機 会ホームページのご案内

<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>

京 機 会

click here !

- ◇ 求人情報
- ◇ 支部へのリンク
- ◇ 京機 会関西支部
- ◇ 京機 会関東支部

総会・大会のご案内/ご報告

- 平成12年度京機 会春季大会のご案内
- 1998年秋季大会報告
- 1997年度総会・大会報告

会員のみなさまへ

- 京機 会からのお知らせとお願い
- クラス会・同窓会などの開催通知
- 昭和45年卒業ほ一むページ
- H3学部卒業生(H5院卒)の方々へ
- 会員からのお便り紹介
<ミュンヘン工科大学訪問記>
- 五十年会
- 京機九日会

機械系教室

- 新研究科 一機械教室の発展一
- 京都大学機械系工学教室百年記念式典
(平成9年6月18日)

京機 会会則・役員名簿

- 京機 会会則(H9.11.21改正)
- 京機 会役員名簿

リンク

機械工学専攻・機械物理工学専攻ホームページ
精密工学専攻ホームページ
第二世紀事業ホームページ

最終更新 平成12年3月2日

なお、京都大学のホームページはつぎのとおりです:

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

そこからは、京都大学の諸部局のページはもとより、他の国立大学のホームページに進むこともできます。

《教室から》

桂キャンパスについて

昨年の秋より新聞紙上で京都大学の新キャンパスに関する記事が掲載されており、京機会の皆様も興味があると思いますので、本年1月に出版された”京大広報”に掲載された長尾総長の新キャンパスに関する記事を要約して紹介します。(以下要約)

新キャンパスの必要性和場所に関しては以前より検討されてきました。位置付けとしては、「日本を代表する大学として今後とも高度の先端的研究を行い、学問において世界をリードするとともに、社会において指導的役割を果たす見識ある優れた人材を多数輩出するエクセレント・ユニバーシティを目指す」ことにあります。そのために、諸学の交差する密度の高い空間と、それにふさわしいキャンパス環境が必要であり、その条件を満たす新キャンパスとして、「桂キャンパス(桂・御陵坂地区)」が候補となり、昨年暮れの第二次補正予算に一部の土地取得と工学研究科化学系・電気系その他の建物計画が入れられました。このキャンパスには、将来工学研究科と情報学研究科が移転する予定です。学部学生に対する教育は吉田キャンパスで行うことが基本とされています。この結果、吉田地区は全学部と文系・理系の研究科を置き、学問の伝承を行いながら基礎研究を推進する。宇治地区は自然科学系の研究所が結集し先端的研究を展開する。そして、桂地区は理学と工学とが融合し、社会に開かれた領域を開拓することを目指す関西のテクノサイエンスヒルとして発展していくことを目標とする。

本年より、桂キャンパスへの移転に向けて作業が行われており、化学系・電気系の移転の後、将来は機械系3専攻も桂に移転することになります。p.1の写真は桂・御陵坂周辺の航空写真です。写真の中央右手の緑から茶色に見えるあたりが桂キャンパスの予定地です。緑は竹林です。写真の右外に阪急電鉄桂駅があり、写真の上部には苔寺(西芳寺)、桂川が見えます。

柴田俊忍教授退官記念講義

平成12年3月6日(月)13:30~14:30、工学研究科物理系校舎313教室において、3月31日づけ退官予定の柴田俊忍教授による「私の講義における失敗談」と題する記念講義が開催され、教官・技官・学生・卒業生

・教室外の方々を含む約160名が出席した。教育にはとりわけ熱意をもって当たられた柴田先生から、振子の振動に関する実験を交えた講義があり、大学での講義のあり方、学生への向き合い方についてのお考えが示された。その日の夕刻には、紫蘭会館において教官有志による懇親会が和やかに催された。参加者33名。

< p.11 に 最終講義のひとつま >

教官の異動

平成11年9月以降の教官の異動はつぎのとおり:

本田善久 講師: 昭和53年京大精密工学科卒業、同58年京大大学院博士後期課程精密工学専攻指導認定退学本学研究生、助手を経て、平成11年10月1日講師に昇任(大学院工学研究科精密工学専攻システム工学講座振動制御システム分野勤務)。主な研究テーマは、回転円板の振動特性と安定性、自由音場に放射される音響パワーの制御。家族は妻、子(♂×3)と犬(♂)。

岩前 敦 助手: 平成4年京大物理工学科卒業、同9年京大大学院博士後期課程物理工学専攻研究指導認定退学。同9年科学技術振興事業団CREST研究員。同11年10月1日、本学助手に採用(大学院工学研究科機械物理工学専攻物性工学講座応用分光学分野勤務)。研究テーマ: 偏光プラズマ分光, レーザー分光。新鮮な精神をもって自ら探求中。趣味はバイクで博物美術館めぐり・写真。家族は妻。億劫須臾。

松原 厚 助教授: 昭和60年京大機械工学科卒業。同年(株)村田製作所入社、平成2年同社退社、同3年京大精密工学科研究生、同4年本学助手を経て、本年2月1日助教授に昇任(大学院工学研究科精密工学専攻知能機械システム講座精密計測加工学分野勤務)。抱負: 京大の良き伝統を継承しつつ、Challengingな教育・研究を行いたい。



本田善久 講師



岩前 敦 助手



松原 厚 助教授

《会員のページ》

九日会と京都の会への案内

午餐会に参加し、交友を楽しみませんか

京機会々員の親睦のために定例の午餐会を開催しております。会員諸氏の参加を歓迎します。交友の輪を広げて楽しみませんか。

下記の2つの例会があります。

- (1) 京機九日会：偶数月の九日に大阪梅田で開催
- (2) 京機京都の会：奇数月の第一土曜日に京都で開催

参加ご希望の方は、ハガキに例会の名称(上記の(1)、(2)のいずれかあるいは両方か)を明記して京機会事務局までお申し込み下さい。

京機22年会の報告

- (1) 平成11年10月26日、京都センチュリーホテルで総会が開催され、台湾を含め全国から会員25名、夫人5名の総員30名が楽しい歓談の時を過ごしました。
- (2) 平成12年3月27日、大阪クラブにて関西大会が開催されます。
- (3) 京機22年会誌「余滴」第2号が平成11年12月に発行されました。
- (4) 京機22年会員の玉置光夫君が平成11年4月3日逝去されました。

(岸本雅夫)

五十年会(S25)秋季例会の報告

日時：平成11年11月11日 = いい年いい月いい日
11:30~15:00の3時間半
会場：レストラン『モンレーブ』（梅田東海銀行ビル9階）
出席者：小澤和雄、木本正文、沢田義明、清水光明、下間頼一、田中 裕、長尾剛一、野木圭三、畠正雄、森川龍一、大和久士、山中正敏の12名。

IV. 会の進行：

- 1) 報告事項：11:30~12:30
松浦英明君の御逝去(10月12日)の報告とそれを悼み黙祷。この結果、25年組は総数40名の中で鬼籍に入った人は10名となり現役会員は30名。
- 2) 打合せ事項：来年の「五十周年記念会」の相談
- 3) 食事と閑談：12:30~13:30

4) 各自の最近の生活状況のスピーチ：

最近の生活習慣と健康状態がスピーチの中心であった。出席の全諸兄の診察を行うには大病院の全科を必要とする程に多彩であった。然しお互いに一病息災であるが故に元気に同窓会に集い、語り合える幸運に感謝する。

5) 記念写真：15:00

< p.11 に この会の記念写真 >

五十年会(S25)「五十周年記念会」

2000年は我々にとっても卒業後50年になる記念すべき年であり、「五十周年記念会」を行うことにした。

開催日時：5月9日(火) 10:00集合。

集合場所：工学研究科物理系校舎8階806室
"京機会の部屋"。10:00。

スケジュール：

- 1) 機械系の研究室を見学。(10:00~11:45)
- 2) "京機会の部屋"にもどり、先生から最近の機械系教室の状況を御説明頂く。
- 3) 12:00頃から約1時間"京機会の部屋"にて閑談。
- 4) 医学部同窓会の宿舎にあるレストランにて昼食(13:30~15:00)
- 5) 京都大学博物館見学(希望者)。17:00頃解散。
詳細は2000年3月末頃に 出欠の問合せ郵便にてお伝えします。 幹事：畠 正雄、森川龍一

悟美会(S28)卒業46周年総会の報告

1999年10月30日(土)夕、京都御所西の平安会館2F 嵯峨の間で行われ、例年より多い28名の会員が参加し(大路清嗣君、遅れて参加)、非常に楽しい歓談の一刻を過ごしました。席上、西田弘君(京機会評議員)より京機会関連のことにつき話がありました。次回は2年後(2001年に)開催することを決定しました。世話役については様々の案が出されたが決定にいたらず。常任幹事より、2003年の50周年総会以後、幹事等、会の体制についての提案が出されましたが、異議はありませんでした。 常任幹事：中川隆夫 記

< p.11 に この会の記念写真 >

昭和30年卒同窓会の報告

1年おきに開催している昭和30年卒業の同窓会を、

今回は平成11年10月16日(土)に、殆どの会員が昭和26年憧れの京都大学に入学して最初の1年を過ごした宇治で開催しました。当日午後に、現在、京大宇治研究所となっている当時の宇治分校を訪れ、僅かに残っている50年近く前の建物を眺め、往時を偲ぶひとときを過ごしました。あと黄檗山万福寺、宇治の平等院を訪ね、夜、宇治川の河畔の花やしき浮舟園で懇親会を開催しました。

次回は、幹事：亀山訓夫、撰親の両名で来年、岡山での開催を予定しています。

幹事：近山 進、品部和成

< p.11 に この会の記念写真 >

平成11年度泰山会の報告 (S27入学/S31卒業 同窓会)

平成11年10月22日、17名の出席のもと予定通り開催。当日は14時から、大津市のびわ湖ホールの見学、秋深まる石山寺の散策及び瀬田川畔の臨湖庵での懇親会を行いました。びわ湖ホールでは本格的なオペラ劇場として、同ホールの誇る4面舞台を持った大ホール、他、演劇用の中ホール、アンサンブルなどに適した小ホールなど、設計コンセプトの説明から、実際の舞台装置、果ては奈落に至るまで、懇切丁寧な案内を受け、貴重な見聞をしました。

また、石山寺では源氏物語を題材とした屏風の見学と境内の散策にしばし時を忘れ、最後に臨湖庵の懇親会では、談論風発、大いに懇意の実をあげると共に、来年度は、田村和彦氏を主な世話役として大阪で開催することを決め、20時に散会しました。

なお、有志によるゴルフ会は、7名参加のもと朝日野カントリークラブで行い、和気藹々、楽しい一日を過ごしました。(谷口記)

< p.12 に この会の記念写真 >

昭和32年卒同窓会の報告

去る11月14日2年ぶりの同窓会を京都下鴨糺の「下鴨茶寮」で行った。前回から夫婦同伴歓迎で行っているが今回は同伴者17組単身7人(出席率63%)合計41人と多数の出席者で舞妓さんの祇園小唄と茶懐石を愛でながら旧交を温めた。

翌日は希望者それぞれで桂離宮、修学院離宮の見学や高尾の紅葉で秋を楽しんだ。次回は今迄京都ばかりだったので趣向を変え、関東地区で2年後に開催することとし再会を約した。また有志で4月ごろ中国旅行を計画しようとの話も持ち上がっている。

< p.12 に この会の記念写真 >

第11回機河会(河本研究室同窓会)の報告

平成11年8月28日(土)機河会が例年通り京大会館で13時より16時まで行われた。前年について河本先生ご夫妻が出席され、参加会員も初参加の方もあって22名と多数にのぼり、盛大な会となった。冒頭に河本先生からお話があり、3つの希望と題されて、日本国民に対して素晴らしい教訓が示されている教育勅語の復活等、現在、目標や自信を喪失して元気のない日本人に自信を持って節度と活力のある行動を取るべしと正に先生らしいお話を約35分起立したまま熱弁をふるわれ、参加者一同、先生のお元気さと情熱に感服して聞き入っていた。乾杯のあと、柴田先生から京大第3キャンパスのお話があり、その後歓談に入った。河本先生ご夫妻とのお話や先輩、後輩間の語らい等、各自思い思いの話し合いを楽しんだ後、全員が夫々1分間スピーチで近況等を報告し合った。次第に熱が入って3分をオーバーする人もでる等、皆さん元気で各方面で活躍されており、終始賑やかで且、和やかなうちにまたたく間に3時間が過ぎてしまった。そして本年平成12年は河本先生が米寿を迎えられるわけで、同年の機河会で又、お互い元気で再開するのを楽しみに散会した。(野木圭三(S25)記)

< p.12 に この会の記念写真 >

第12回機河会(河本研究室同窓会) 兼 河本先生米寿祝賀会の案内

とき：平成12年8月26日(土) 12:00~16:00
ところ：京大会館
幹事：中川隆夫(S28新)

第3回サカサカ会(伝熱工学研究室OB会)の報告

標記の会が平成11年12月25日(土)15:00~20:00、京大会館にて開催された。前半部は鈴木健二郎教授還暦記念シンポジウムと題した講演会形式をとって、産・官・学各界から1件ずつの講演が行われた。また、後半部は懇親会形式をとって、改めて鈴木教授の還暦を祝った。前後半部合わせての参加者は同伴者を含めて87名であり、その時の和やかな雰囲気の様子は次のURLに掲載されている。

<http://orion.mech.kyoto-u.ac.jp/hthome/sava/>

< 会員のページ > p.12 下部につづく

胡 朝生さん(S19)からのおたより

昨年12月に京機会の段 智子さんから、胡 朝生さんご夫妻が京機会の部屋をお訪ねになり親しく話してゆかれた旨の報告があった。胡さんは中国のご出身で昭和19年のご卒業、その後、中国、米国でご苦勞・ご成功あって、現在はカリフォルニア州サンディエゴにお住まいの方である。京機会では最近海外に在住の会員各位にも本誌をお送りしているが、胡さんにはこれをことのほかお喜び下さり、その折には半世紀余の時を経て、古巣をお訪ね下さった。

その後、二三の連絡の試みあって、胡さんには本誌に記事をお寄せ下さるようお願いした。律儀な方で、きちんと締切の日に原稿をお送り下さった。氏の半世紀とお人柄がうかがえるもので、一字一句の重みの伝わるものである。

直筆の長文で、若い者には誤って解読した箇所もあったかもしれないが、とにかくワープロ化させていただいた。p.11のお写真は、お送りいただいた(胡さん+ご長男)、(ご長男+奥様)の2枚を合わせたものである。

以下には、胡さんが京機会について書いて下さった部分を紹介する。併せて、旧制のご卒業の方には、その全文を別冊にしたものをお送りする。お若い方で別冊をご希望の方は、京機会事務局にお申し出下さい。

(京機会事務局)

1999年の暮れで満81才を迎えました。記憶の方は大分をかしくなっていて、成るだけ簡単に過去の足跡をかいでみる。

京大を卒業すると、当時軍管理だった河北省唐山に本據がある開ラン炭鑛に就職。4ツある採炭所の一つ林西鑛の中央機器廠へ配属される。各採炭所には約1万から2万の鑛夫が3交代で働いてゐた。とれた石炭はコークスにて全量八幡製鋼に輸送されてゐた。戦争遂行の為、重要な役割を果してゐた。これに対し軍が食糧(メリケン粉)、機械の潤滑油、綿布 etc. を供給。管理及び技術関係のイギリス人は捕虜収容所に入っていたが2次大戦が終了すると原職に戻って来た。日本占領時代に雇われた者は全部解雇されるに至った。白川最高監督官の世話に預り中国が接收した原華北電業の天津第一発電所へ転職。留用してゐた日本人所長を始め技術者から、日本語が判る中国人技術者が来たと言ふので大変喜ばれた。早く日本へかへりたいのでより早く運営を覚えて欲しいと頼れた。全力をつくして

勉強してゐると以前よりゐる中国人技術者からねたまれて当局へ小生は「漢奸」だと中傷的な通報がなされて身辺が一時危しかった。天津第一発電所はオール日立製品を使ってゐた。ボイラーは日立-バブコック社のスーパーヒータ付、水栓式炉壁、微粉炭燃焼自働運転15,000kW蒸気タービン/発電機が2基、大きな貯炭場当時としては最新式のシステムを誇ってゐた。

(約3頁分略)

京大(機械)の同窓会とは何十年間に亘って音沙汰なしだったが、最近になり漸く同窓会報が来るようになり、1999年11月/12月京セラ本社(20階建ての新築ビル)訪問を思ひ、同時に 昭19卒後55年間に亘り一度も母校を訪問した事が無いので是非一度できれば担当教官に会へたらと思つて京大訪問した次第でした。appt.無しに訪問したので、小生の落度でしたが、牧野教授に会へなかつた事は残念でした。同窓会報が小生の如く外国にゐる者に迄届く様になった点に関して牧野教授に深く感謝してゐます。

(結言)

与へられたと言ふ紙面の数を越えた点はよく了承してゐます。イザ書き始めたら牧野教授に向つて簡単乍ら京大を終へてからの略歴を話してゐる様な気持ちで書きました。単に一卒業生の足跡と思つて下さい。

京セラの Founder - Dr. 稲盛和夫と大河原良雄駐米大使と小生の写真を記念に同封してをきます。よく見れば大使の署名入りの写真です。紙面上京機会ニュース等に掲載できない事もよく了承してゐます。

今后共何分宜敷く願ひします。今后何時又日本へ行くか全然判りませんが、折角だからもう一度京都を訪問して牧野教授を始め山田京大名譽教授等にも是非一目お会ひしたいと思つてここに擱筆します。

尚2月22日から3月3日迄 Bata California (メキシコ国)へ船旅をしますので、慌て荒仕上げをして本文を郵送する次第です。

昭和19(1944)卒

胡 朝生

WU, Chiu Sang (渾名: Chester)

CC: 山田京大名譽教授

《写真のページ》



平成11年度京機会秋季大会のひとこま



後列左より 森川・大和・沢田・田中・下間・野木・小澤・島
前列左より 山中・木本・長尾・清水

五十年会(S25)秋の例会のひとこま



京機会関西支部第2回異業種交流会のひとこま



平成11年10月30日 悟美会46周年記念 社 其の 稔雄

悟美会(S28)のひとこま



柴田俊忍教授最終講義のひとこま



昭和30年卒同窓会のひとこま



泰山会(S31)のひとこま



機河会(河本研同窓会)のひとこま



昭和32年卒同窓会のひとこま



胡 朝生さん(S19)とご家族

《会員のページ》のつづき

S45卒同期会のお知らせ

4月22日(土)3時より、丸山公園内(京都祇園八坂神社)の「いそべ 075-561-2216」にて同期会を開催します。昔の馬鹿話から日本の未来まで楽しく語り合いましょう。最近は、夫婦で参加される方が増えてきま

した。ご参加いただける方は西田まで御連絡下さい。なお、E-mailの連絡網を作っていますので、貴殿のアドレスを西田までお知らせ下さい。また、京機会のホームページ(<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/index.html>)に45卒の欄がありますのでご覧下さい。

西田光男 (住友電気工業(株))

京機会事務局 (広報担当)

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻
牧野俊郎 S47 Tel./Fax.075-753-5265, E-mail: a50141@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp
段 智子 Tel.075-753-5183, Fax.075-771-7286, E-mail: keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp